

平成 28 年度 第 6 回

三重県伊勢志摩サミット推進本部会議

事項書

日時 平成 29 年 2 月 6 日 (月)

9 : 45 ~ 9 : 55

場所 プレゼンテーションルーム

1 伊勢志摩サミット推進局からの報告

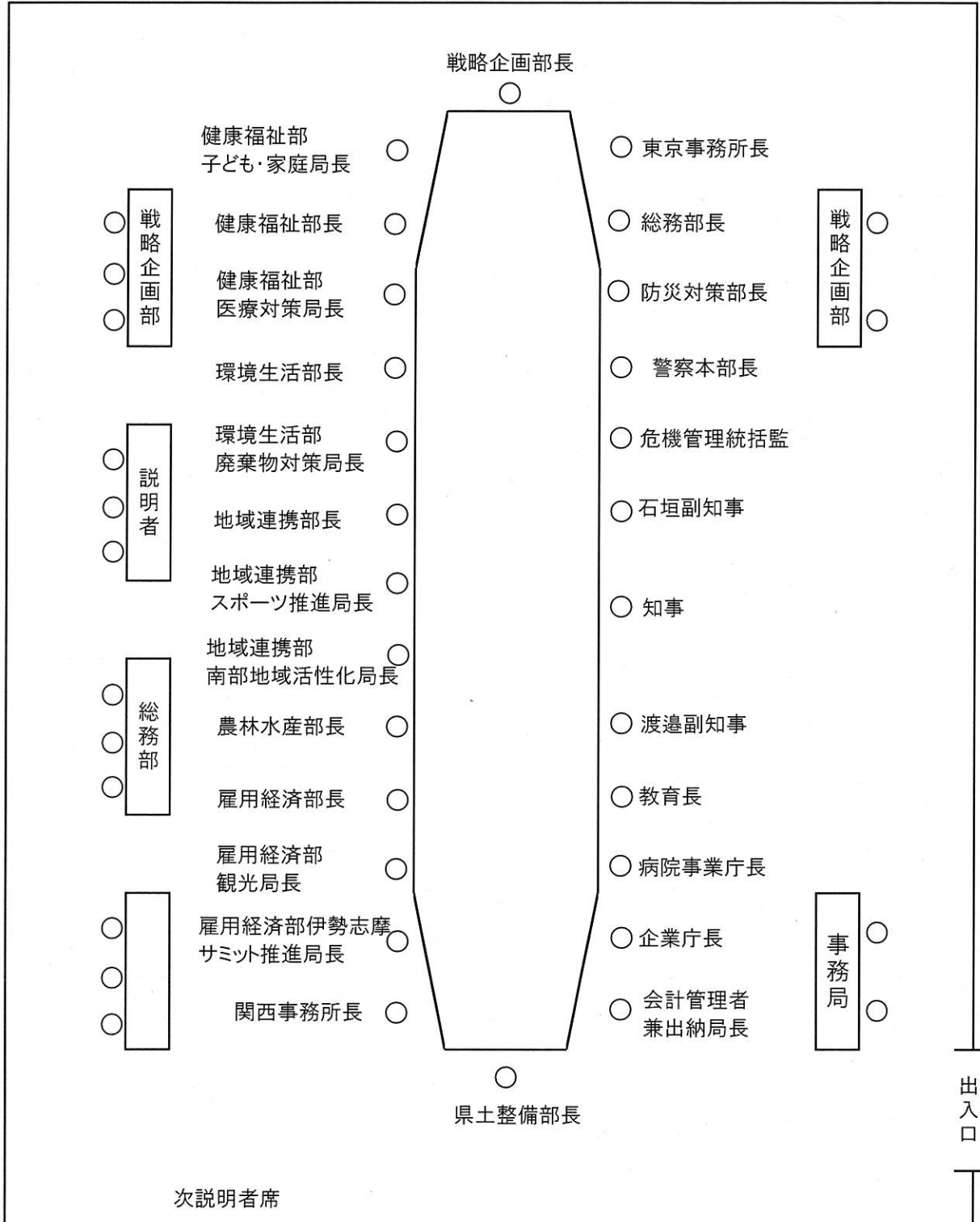
(1) 伊勢志摩サミット記念館 (仮称) について【資料 1】

(2) 伊勢志摩サミット協賛・応援事業にかかる情報共有について【資料 2】

(3) 伊勢志摩サミット・アーカイブ事業について【資料 3】

平成28年度第6回伊勢志摩サミット推進本部会議(2月6日)座席表

プレゼンテーションルーム



平成29年2月6日
サミット総務課

伊勢志摩サミット記念館（仮称）について

1 設置目的

伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの概要や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、サミットのレガシー（資産）を次世代に引き継ぐ場として、伊勢志摩サミット記念館（仮称）（以下「記念館」という。）を設置します。

2 設置場所

賢島駅2階（約295.7㎡ 別紙参照）

3 設置時期

平成29年5月末（サミット開催1年後）までの間において設置します。

4 設置期間

日本における次期サミットの開催年まで設置することとし、その後の対応については当該設置期間の終了までの間に、伊勢志摩サミット三重県民会議（以下「県民会議」という。）、近鉄グループホールディングス株式会社（以下「近鉄」という。）、志摩市の三者間で利用状況等を勘案し決定することとします。

5 想定する基本機能

伊勢志摩サミットの概要を写真、映像、現物等で展示するとともに、賢島を起点とした周遊観光のための情報発信機能や次世代を担う子どもたちの学びの場を創出する機能を有するものとします。

また、来訪者に飲食及び物販を記念館又は記念館と一体的に整備する喫茶スペースで提供することにより駅及び記念館利用者の利便性を満たす空間を創出します。

6 記念館の整備及び運営

（1）記念館の整備

記念館の設置に係る整備（賢島駅2階改修工事及び内装・展示設営等）は、県民会議が実施し、その費用は県民会議が負担します。

（2）記念館の運営

記念館の運営は、志摩市が実施し、その費用は志摩市が負担します。

運営に当たっては、賢島駅2階の記念館設置箇所を近畿日本鉄道株式会社から志摩市が借り受けて記念館を運営します。

7 記念館の概要（案）

（1）展示内容

サミット当日の雰囲気を感じていただくため、サミットで実際に使用した円卓や贈呈品を展示するとともに、国際メディアセンターアネックスで使用された部材（檜柱、木製簾、木製黒壁）を記念館において使用します。

(展示例)

- ①誘致活動に関する写真パネル展示
- ②サミットの誘致決定時の写真パネル展示
- ③等身大記念写真等パネル展示
- ④首脳会議用円卓・椅子の実物展示
- ⑤公式記録の展示（写真パネル、動画）
- ⑥観光情報の発信
- ⑦首脳等への贈呈品等の実物展示
（カップ&ソーサー、文箱&真珠付ボールペン、コアウツドの置時計等）
- ⑧サミットで使用された食材等の写真パネル展示
- ⑨県民によるおもてなしの様子写真パネル展示

(2) 体験型展示の充実

子どもたちにとって記念館が学習機会の場として魅力的なものとなるように、例えば、首脳会議用円卓・椅子に触れていただきサミットの雰囲気を感じていただくなど、体験型要素を取り入れた展示の充実を図ります。

(3) 飲食・物販

県民会議、志摩市、近鉄の三者間でその具体的な運営方法等について調整中です。

8 スケジュール（現時点における予定）

（記念館の基本的事項に関する3者間合意（覚書等の締結）済み）

- ・ 2月1日：近鉄賢島駅2階改修工事着手
- ・ 2月2日：内装・展示案検討着手
- ・ 3月下旬：内装・展示案検討終了、賢島駅2階改修工事完了
- ・ 4月上旬：内装・展示設営着手
- ・ 5月下旬：内装・展示設営完了、記念館オープン

伊勢志摩サミット協賛・応援事業にかかる情報共有について

平成 29 年 2 月 6 日

サミット総務課

1 事業概要

伊勢志摩サミットの開催にあたっては、協賛・応援の仕組みにより県内外の企業、団体等から支援を得ることで、官民一体となったオール三重での事業を展開することができました。

サミットのレガシーの 1 つである協賛・応援事業者の情報を県民会議だけでなく県各部局で活用することで、多様な主体との協創を進め、アクティブ・シチズンへとつなげていきます。

2 県民会議の取組

事業者には多様なニーズがあり、特に自社商品等がサミットで活用されることや自社の取組が広く PR されることを希望する事業者が多くありました。このため、事業者が協力することによるメリットを得られるよう協賛・応援の活用や PR に取り組みました。

(取組の内容)

①サミットでの協賛・応援の活用 (県民会議事業)

②県民会議の各事業での PR

- ・県民会議イベントに活用した協賛品のリストを同イベントのプログラムに掲載。
- ・県民会議公式ポスターの印刷費用等を負担した事業者名を同ポスターに掲載。
- ・各種会議資料へ、随時応募状況を掲載。

③贈呈式・発表会

協賛品の贈呈式や、応援商品の発表会を随時実施。知事が出席し報道発表することで、多くのメディアに取り上げられた。

④ホームページ・記録誌への掲載

3 県各部局と情報共有

各所属の担当者が活用しやすいよう協賛・応援事業者のリストを内容ごとに分類して活用方法や担当窓口を整理し、関係資料一式と合わせてグループウェアに掲載しますので、各部局において、積極的にご活用ください。

(グループウェアに掲載する内容)

○協賛事業者・活用リスト

「物品」「飲料」「食品」などに分類

○応援事業者・活用リスト

「応援商品」「記念イベント」「PR」などに分類

○協賛・応援事業の関係資料一式

運用方法やノウハウ等を整理 (贈呈式実施方法など)

4 その他

活用にあたり不明な点があれば、サミット総務課総務班 (059-224-2429) までお問い合わせください。



伊勢志摩サミット協賛・応援事業にかける情報共有



伊勢志摩サミットの開催にあたっては、協賛・応援の仕組みにより県内外の企業、団体等から支援を得ること、官民一体となったオール三重での事業を展開することができた。
サミットのレガシーの1つである協賛・応援事業者の情報を県民会議だけをなく県各部署で活用することで、多様な主体との協創を進め、アクティブ・シチズンへとつなげていく。

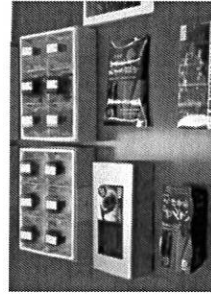
協賛事業の事例（一部）

- 伊勢志摩サミットフォーラムにおいて、来場者に配布するメモ帳1,000個や伊勢茶1,000本などを提供
- 各種交流会等において、地酒100本以上やビール400本以上のほか、会場での生け花の装飾や伝統芸能のアトラクション披露、通訳ボランティアなどを提供
- 県民会議公式ポスター（第3弾・第4弾）の印刷・発送費用を協賛事業者が負担し、ポスターに企業名を掲載
- 国内外報道関係者等へ約3,600セット配布した「三重のおもてなしバッグ」に入れた施設入場券、事務用品、飲食物等を提供
- 警備関係者等へ、お茶48万本・缶コーヒー48万本を提供



応援事業の事例（一部）

- サミット応援商品の販売
「アサヒスーパードライ伊勢志摩サミットラベル」「伊勢志摩招福ようかん」「キリン一番搾り伊勢志摩サミット開催記念ラベル」「サミット開催記念パッケージ亀山ラーメン」「ザ・プレミアム・モルツ伊勢志摩サミットデザイン缶」「伊勢志摩WAGON」など
- サミット記念イベントの実施
「百五観光アカデミー」「食品衛生セミナー」「サミット開催歓迎和太鼓演奏ツアー」「伊勢型紙JAPAN・BLUE展」「すし祭り」「三重県フェア」「伊勢志摩フェア」など
- サミットPR
「ホームページでサミット開催を発信」「名刺にシンボルマークを掲載」「横断幕を社屋に掲示」など
- 県民会議公式ポスターの掲示



事業者にとってのメリット

事業者には多様なニーズがあり、特に自社商品等がサミットで活用されることがや自社が取組が広くPRされたいことを希望する事業者が多かった。このため、事業者が協力することによるメリットを得られるよう協賛・応援の活用やPRに取り組んだ。

- ①サミットでの協賛・応援の活用（県民会議事業）
- ②県民会議の各事業でのPR
 - ・県民会議イベントに活用した協賛品のリストを同イベントのプログラムに掲載。
 - ・県民会議公式ポスターの印刷費用等を負担した事業者名を同ポスターに掲載。
 - ・各種会議資料へ、随時応募状況を掲載。
- ③贈呈式・発表会
協賛品の贈呈式や、応援商品の発表会を随時実施。知事が出席し報道発表することで、多くのメディアに取り上げられた。
- ④ホームページ・記録誌への掲載

レガシーの活用

県各部署と情報共有（グループウェアに掲載）

各所属の担当者が活用しやすいよう協賛・応援事業者のリストを内容ごとに分類して活用方法や担当窓口を整理し、関係資料一式と合わせてグループウェアに掲載する。

- 協賛事業者・活用リスト
「物品」「飲料」「食品」などに分類
- 応援事業者・活用リスト
「応援商品」「記念イベント」「PR」などに分類
- 協賛・応援事業者の関係資料一式
運用方法やノウハウ等を整理（贈呈式実施方法など）

→ 事業者への依頼時にはストーリーやメリットを提示することで協力が得られやすくなる



伊勢志摩サミット・アーカイブ事業 ～伊勢志摩サミットを契機とした県民等の活躍事例～

資料3

平成29年2月6日
サミット総務課



伊勢志摩サミットのレガシーを三重の未来に生かすため、サミットを契機として活躍されている県民の皆さんの取組の具体事例を収集、整理し、アーカイブを作成する。活躍事例を県内外へ情報発信するなど、様々な取組に活用することで、さらなる県民の皆さんの活躍につなげていく。

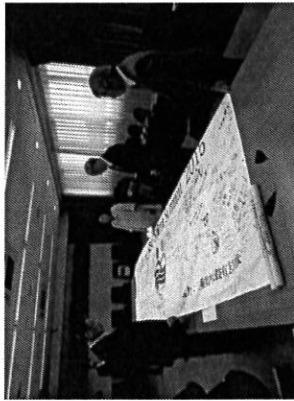
活躍事例の具体例

- ・サミットで活用された県産品の生産者などのサミット後の取組
- ・サミットや関連事業に参加された方々のサミット後の取組
- ・サミット協賛・応援事業をはじめ、県民会議にご支援いただいた方々のサミット後の取組
- ・直接サミットに関わらなかった方々がサミットを契機に新たに始めた取組

(例) サミットを契機として、サミット後も取組を継続されている皆さん



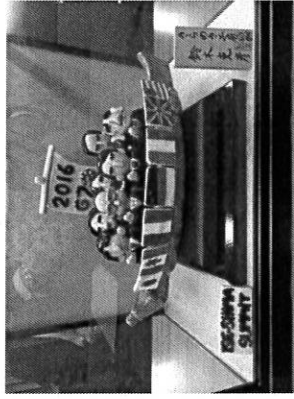
花いっぱい作戦に参加された方々



各地の太鼓演奏会でサミット応援リレーメッセージを集めた取組



首脳の似顔絵と詩のパネルを作成し各地で展示した取組



サミットがきっかけで始まった福祉団体とドイツ大使館との交流（写真は大使へ贈呈された陶芸作品）

1 アーカイブの作成

- (1) 県民会議の事業に協力いただいた団体等のサミット後の取組状況についての情報収集、市町や各団体等への活躍事例の照会などを行い、取組の具体事例を収集、整理する。
- (2) 職員が当事者を個別に訪問し、詳細のヒアリングやインタビューの撮影等を行う。

2 アーカイブの活用

- (1) 県ホームページにインタビュー映像を掲載し、合わせてSNSで情報発信する。
- (2) 収集した活躍事例の情報を他部局と情報共有し、様々な分野・場面での活用につなげる。
- (3) 次回開催地への紹介など、今後様々な取組に活用していく。

